

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,798	t-CO <sub>2</sub>
①を除外した温室効果ガス換算排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素 (③を除く。)		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量 (①~⑩合計)		1,798

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	4,084	t-CO <sub>2</sub>	4,043	t-CO <sub>2</sub>	1,330	t-CO <sub>2</sub>	1,477	t-CO <sub>2</sub>	1,798	t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)			1.0	%	67.4	%	63.8	%	56.0	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率 (対 基準年度)				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

健康管理の観点から酷暑・寒冷時のアイドリングストップ解除を継続したこと、および車両の経年劣化により、排出量が増加したと考えられます。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。  
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。  
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。  
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
従業員への環境教育	<p>環境方針を全社員に周知させ、環境に関する意識向上を図る。</p> <p>環境目的・目標を設定し、定期的に見直しを実施する。</p>	<p>掲示板を利用しての周知や環境会議などを開催して互いの意識向上や現場への指導について話し合う。</p> <p>外部講習へ積極的に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の月次環境会議への参加を継続。</li> <li>・年2回の周辺美化活動を継続して行い、環境への意識向上を図っている。</li> </ul>
廃棄物の削減	<p>利用可能な事務用品、作業機材等の再利用(再使用)</p>	<p>コピー時に裏紙使用</p> <p>個人・社外からのゴミ持込禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷時の裏紙使用を推進</li> <li>・不要になった事務用品の置き場を用意し、用品の再利用を促している。</li> </ul>
省エネルギーの行動実践	<p>PC・蛍光灯の不要時消灯</p> <p>エアコン温度設定</p>	<p>電力使用量削減</p> <p>クールビズ・ウォームビズの継続実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食時等、事務所の消灯をし不要な電力の削減を行っている。</li> <li>・エアコンの温度設定は適正な設定を行っている。</li> </ul>
自動車輸送機関に関する対策	<p>アイドリング・ストップ運動を徹底する。</p> <p>目的値を設定したエコドライブの実施</p>	<p>積卸時のアイドリングストップの徹底</p> <p>エアコンの適切な使用</p> <p>無理な加速・減速をしない運転の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酷暑、寒冷時以外のアイドリングストップ活動を継続。アイドリング解除時も寄り場等の活用を促し、不要なアイドリングの削減に努めている。</li> </ul>

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--